



ち く さ が わ

千種川

赤穂市立坂越中学校
学校だより
2018戌年特別号
文責：安井誠治

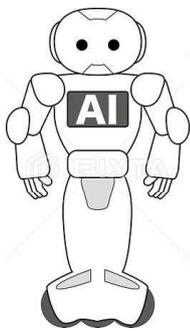
教育目標：『自信と誇りを抱き、主体的に学び続ける生徒の育成』

校訓：『希望・友情・責任』

「地道に、実りのある成年に！」

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、本校の教育活動にご支援・ご協力いただき誠にありがとうございました。2018年戌年では、この干支の特徴である「勤勉で努力家」のイメージどおり**坂中にとっても、更に地道に実りのある一年**にしていきたいと決意を新たにしています。本年もよろしくお願いたします。

そんな中、新年を迎え3学期が始まりました。生徒たちは目標を立て、気持ちを新たにして節目の時を迎えていることでしょう。2018年がみなさんにとって、素晴らしい一年になりますことを心より祈念申し上げます。



さて、数年前にアメリカの研究者が「今の子どもたちの65%は、学校を卒業後、今は存在していない職業に就く」という予測を発表し、話題になったことは記憶に新しいことと思います。日本でも、「今後10～20年で約49%の仕事が人工知能などのロボットによって自動化される可能性がある」という記事が新聞に載りました。

こんな話を聞くと、親として子どもの将来が不安になるのではないのでしょうか。ある教育関連会社の調査から、子どもの将来についてとても興味深いデータがありました。それは、「**親とよく話す子どもほど、なりたい職業を持っている**」また、「親が子どもの将来や進路について話をすることは、子どもが自分の将来の目標やイメージを描く手助けになっている」というものです。

子どもの頃はなりたい職業がよく変わります。それがどんな職業であっても、その職業に憧れたり興味を持ったりすることで、子どもの関心が家族や友達のことから社会にまで広がることが重要だと言われています。

「勉強しなさい」の声かけが必要なときもありますが、子どもは自分の将来を探すスタート地点に立っています。その職業に就いてどんなことをしたいのか、子どもの夢と一緒に楽しく聞いてあげることが大事だと思います。是非、新しい年を迎えた今だからこそ、**子どもの将来について、親子で楽しく話し合うことを始めてみてはいかがでしょうか。**子どもと一緒に将来の夢を見つけてみてください。



私の大切にしている言葉の一つに、

「人に魚を与えれば一日で食べてしまうが、釣りを教えれば一生食べていける」

という諺があります。魚という答えを子どもに与えるのは簡単ですが、釣り方という学び方を教えることはそう簡単ではないことを再認識させられます。

どんな社会になっても目先のことにとらわれず、自分の将来の夢に向かって、たくましく生きる子どもを、「家庭」・「地域」・「学校」が協力して育てていきたいものです。



1月の行事予定

- 9日(火) 3学期始業式
- 10日(水) 中間・課題テスト(弁当)
- 11日(木) 給食開始
- 12日(金) 岡山私学入試開始
- 13日(土) 赤穂市新人駅伝大会
- 14日(日) 消防出初め式
- 15日(月) 防災訓練



- 17日(水) 1.17追悼行事
- 18～22日 3年進路相談会
- 25日(木) 1年生歯磨き対抗マッチ
- 30日(火) 1年生琴体験学習
- 2/2日(金) 生徒会役員選挙
- 7日(水) 新入生入学説明会
- 10日(土) 兵庫県内私学入試



《 12/7 赤穂特別支援学校との交流会 》

赤穂特別支援学校との交流会は、平成元年より継続して実施されており、本年で29年目を迎える伝統的行事です。去る6月14日（水）には坂越中学校1年生が、赤穂特別支援学校中学部を訪問し、施設見学や交流会、レクレーションなど、楽しい時間を過ごしましたが、今回は、赤穂特別支援学校中学部のみなさんが、坂越中学校を訪問してくださり、前回同様、校歌交換会や交流会、レクレーション、ゲームなど、1年生の学年委員会が中心となって立案・計画したプログラムを通して、お互いがそれぞれの素晴らしい所を吸収し合い、相互に相手を思いやる温かい時間を過ごすことができました。また、来年の交流会を楽しみにしています。ちなみに来年は、交流30周年記念の節目となる年になります。



《 12/8 音楽芸術鑑賞会（和太鼓演奏会） 》



現在では、学校の学習指導要領で和楽器の指導の導入が明記され、実際に中学音楽の授業で取り入れられるなど、和楽器が伝統音楽の視点から見つめ直されています。そこで坂越中学校では、昨年度より講師先生を招いての「琴の演奏体験学習」を実施し、今回は芸術鑑賞会として、和太鼓奏者の溝端健太氏をお招きし、全校生徒・保護者対象の和太鼓演奏会を企画しました。予想をはるかに超えるスケールの大きな素晴らしいステージで、生徒たちに日本の伝統楽器「和太鼓」をより身近に感じてもらうことができました。また、希望者による和太鼓演奏体験や、溝端健太氏と本校和太鼓部の生徒によるコラボ演奏、生徒席の中央に太鼓を設置した臨場感あふれる演出など、時間があっという間に過ぎてしまうくらい、引き込まれました。

ジュニア救急教室(2年生)

11月30日に赤穂消防署から2名の消防士の方に来ていただき、5校時、6校時の2時間をかけて救命教室を開催しました。5校時は1組が、6校時は2組が救命方法について説明を受け、その後グループに分かれて、心臓マッサージや人工呼吸やAEDの使い方について実際に体験をしました。これらの学習や体験を通して、将来、身近で心臓発作などで救命が必要な人に対する対応の仕方の基礎を学ぶことができました。



義士教育学習会(大壁先生をお招きして)

12月5日に、本校元教頭の大壁先生をお招きして、全学級生徒対象の義士教育学習会を実施しました。本年度は、1クラスずつ各教室で、熱のこもったお話しをしていただき、それぞれの学年に応じた学習内容で、とても分かりやすく、クイズなど楽しみながら学習ができました。今まで積み上げてきた知識に、更に新たな知識が加わり、ますます地元「赤穂の誇り」を再認識しました。



12月の表彰、部活動の足跡

<剣道部>

【義士祭奉賛剣道大会】H29. 12. 14

(女子団体の部) **優 勝**

山田唯(2-1) 神吉采(2-1) 照峰綾乃(2-1)



【文化・芸術面の表彰】

【全国書画展覧会】H29. 11. 19

筆都大賞 米口 あゆ(1-2)



【仲田光成記念豊岡全国かな書展】H29. 11. 19

入選 福井 翔一(3-1)

【ふれあいの祭典ひょうご俳句大会】H29. 12. 23

佳作 磯家 遙香(1-2)

【JA共済中学生書道コンクール】H29. 12. 11

(条幅の部) 努力賞 福井 翔一(3-1)

(半紙の部) 努力賞 福井 翔一(3-1)

加藤 真由(2-2) 米口 あゆ(1-2)

【緑化作品コンクール】H29. 12. 5

(標語の部) 佳作 藤田 正喜(3-2)

三席 久保 悠人(1-2)

【福祉作文コンクール】H29. 12. 9

佳作 村山 京香(2-1)

【全国人権作文コンテスト兵庫県地区予選】H29. 12. 16

奨励賞 山田 萌(3-1)

【社会を明るくする運動作文コンクール】H29. 12. 26

佳作 山本ひなた(3-2)



